

SIRIUS HONGKONG OFFICE

VOL.1

シリウスライティングオフィス
香港事務所 特集

今回のシリウスペーパーはシリウス香港事務所特集VOL.1です。

香港事務所は2011年に設立され、今年で6年目を迎えます。香港島湾仔に事務所を構え、香港人スタッフと日本人スタッフが勤務しています。プロジェクトは香港の他、周辺アジア各国に及び、日本事務所より海外出張が多い事が特徴です。プロジェクトの内容は香港のランドマークであるICCのようなビルファサードからホテル、オフィス、レジデンスと様々です。普段は謎のベールに包まれているシリウス香港事務所の仕事の様子について紹介します。



2. 定期的に Night Survey (夜景調査) を行い、街に出て照明の勉強をしています。日頃から照明の意見を交わし、普段の仕事にフィードバックできるよう心がけています。

1. 香港事務所では、スタッフ同士英語でコミュニケーションを取ります。英語が苦手な日本人スタッフも香港で仕事をしているうちに英語を身に付けます。



HONG KONG STAFF

vol 1

インタビュー!

シリウス香港オフィス駐在3年目の村川と小野に、日本と香港の働き方の違いや香港での仕事内容についてインタビューしました。



シリウスペーパー第六号!

シリウスペーパーは、シリウスライティングオフィスの3か月に一度発信する新聞です。お客様や関係会社のみならず、みなさまとのコミュニケーションツールとして、この新聞を通して、少しでもお近づきになれたらと思っています。

SIRIUS OFFICIAL INSTAGRAM



シリウスでは最新のお仕事の写真をインスタグラムにアップしています!

Follow me!

facebookも
随時更新中!



Q1 香港と日本でデザイナーに求められる事の違いは?

A. コンサルタントとしての多角的な視点も重要 [村川]

日本は施工のレベルも高く、ミリ単位へのこだわりと粘りが重要です。デザイン、設計、監理のどの段階でも他の設計者などが気づきづらい部分への細かなケアが必要で、

Q2 香港と日本の仕事の違いで一番苦労した部分は?

A. 照明を制限する基準があること [小野]

香港はデザインの質はもちろん、多角的視点を持つコンサルタントの目線も重要になります。国をあげて省エネ基準が掲げられ、照度、消費電力、グレア計算など、デザインと両立させていく項目が多く存在します。また、安価な器具が入手しやすく、代替器具として提示された器具の質のチェックなど、求められるものは多岐に渡ります。

Q3 香港に来て良かったと思う事は?

A. 多くのチームと一緒に仕事ができること [村川]

日本と違い、各会社の業務範囲がはっきりと分かれていて、プロジェクトマネージャーを中心に、より多くのデザイナー、コンサルタント、施工会社で1つのプロジェクトを完成させていきます。また、香港は香港人だけでなく多くの国と文化を持つ人々が集まる国なので、毎日刺激があり、とても楽しい経験をしています。

NEW PROJECT!

最近の竣工プロジェクト

Double Cove

香港の中国大陸に最も近いNew Territories地区に完成した8棟のタワー・マンションのインテリア及び、外構の照明計画。

海沿いに位置するこのマンションは、「優雅な暮らし」をコンセプトにしており、海から発想される要素が、インテリアデザインの随所に取り込まれている。

住民が自由に使えるプールでは、天井中央に鎮座する、層でできたクジラのオブジェを、3つの照明手法により象徴的に輝かせた。

